

田端文士村記念館企画展

こい  
**恋**

からはじまる

**物語**

~作家たちの  
恋愛事情~

芥川文×芥川龍之介

平塚らいてう×奥村博史

林芙美子×手塚緑敏

山田順子×竹久夢二・徳田秋聲

林きむ子×林柳波

池田蕉園×池田輝方

佐多稲子×窪川鶴次郎

板谷まる×板谷波山

2019年  
2月26日(火) ▶ 5月6日(月)

**入場無料**

**田端文士村記念館** (JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分)

※駐車・駐輪場は隣接の有料施設をご利用ください。

**開館時間** 10:00~17:00  
(入館は16:30まで)

**休館日** 月曜日(祝日の時は火・水曜) 祝日の翌日(土日の時は翌火曜)

【主催・問合せ】(公財)北区文化振興財団 田端文士村記念館 ☎03-5685-5171 【共催】東京都北区

【協力】群馬県立土屋文明記念文学館・郡山市こおりやま文学の森資料館・新宿区立新宿歴史博物館・竹久夢二美術館



入場無料

田端文士村記念館企画展

# 恋こいからはじまる 物語

作家たちの  
恋愛事情

いつの時代も恋は人々の心を大きく揺さぶり、人生を左右する一大事です。幸、不幸を往来するのは恋の宿命でもありますが、それゆえに恋の数だけドラマも生まれます。

本展では芥川文・平塚らいてう・林芙美子・佐多稲子など、田端ゆかりの女性たちに焦点を当て、それぞれの恋愛事情を紹介します。



結婚披露宴での芥川夫妻

## 初公開資料

## 恋心を綴った芥川龍之介の書簡2通！

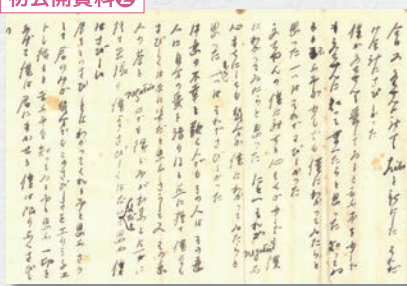
### 初公開資料①



芥川龍之介 山本喜誉司<sup>※1</sup>宛書簡  
1916年(大正5)1月23日  
※1. 芥川龍之介の中学時代の同級生で妻・文の叔父。

僕のうちでは時々文子さんの噂が出る(略)始めはほんとうにとり合はないであられた 今はさうではない僕は文子さんに可成の興味と愛とを持つ事が出来る

### 初公開資料②

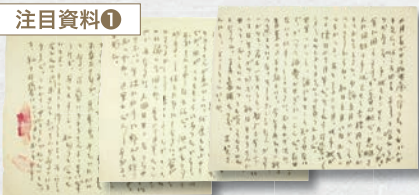


芥川龍之介 山本喜誉司宛書簡  
1916年(大正5)5月13日  
※2.Liebe(ドイツ語)の誤り。「愛」や「恋愛」という意味。

今日又 文ちゃんに対する<sup>※2</sup> Liebe新にした それだけ余計にさびしかつた僕が文ちゃんを愛してゐると云ふ事を少しでも文ちゃんに知つて貰へたらと思つた

## 注目資料

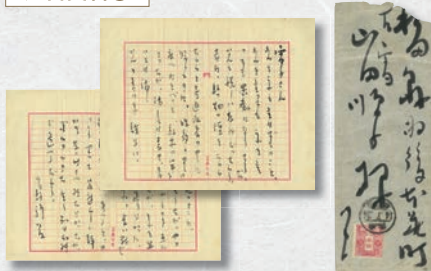
### 注目資料①



林芙美子 手塚縁敏宛書簡  
1932年(昭和7)2月  
パリから夫に宛てた、キスマーク付きの書簡  
※新宿区立新宿歴史博物館蔵

可愛いリヨクさんよ。辛いだらうけど、あともすこし、私だつて会ひたいのよ。(略)私の可愛いくちびるをおくりませう。 ※最後に紅い口紅の跡が残っている

### 注目資料②



竹久夢二 山田順子宛書簡  
1925年(大正14)7月24日  
※竹久夢二美術館蔵

あれを言つてもこれを言つても愚痴になりさうだ。なんて慌しい数月だつたらう。(略)「愛は戦だ」といふ。長い戦で短い恋だつたね。

企画展関連イベント

## 講演会「芥川龍之介さんとわたし」

参加費無料

現代詩から古典やお経の現代語訳まで、常に新しい分野を開拓する詩人・伊藤比呂美が、初めて「芥川龍之介」について語ります。

講師:伊藤比呂美(詩人) 日時:2019年3月16日(土)14:00開演 13:30開場

会場:田端文士村記念館ホール 定員:100名 ※応募多数の場合は抽選。

申込:往復はがきで 3/4(月)必着。1通につき1名 ※同居家族に限り2名まで可。

往信の裏面:①「3月講演会希望」②郵便番号・住所

③氏名(ふりがな) ※2名の場合は続柄を記入。④電話番号 ⑤年齢

返信の表面:住所・氏名



伊藤比呂美

(公財)北区文化振興財団

田端文士村記念館  
TABATA Memorial Museum of Writers and Artists



〒114-0014 東京都北区田端6-1-2

☎03-5685-5171

(JR山手線・京浜東北線「田端駅」北口より徒歩2分)

※駐車・駐輪場は隣接の有料施設をご利用ください。

<http://www.kitabunka.or.jp/tabata/>

🐦@bunshimura